

会 議 録

1 会議名

平成28年度第1回上越市文化財調査審議会

2 議題等

【委嘱状交付、委員長・副委員長選出】

【報告・議事】

(1) 平成28年度事業計画について（公開）

(2) 文化財指定について（非公開）

3 開催日時

平成28年6月13日（月）午前10時から11時30分

4 開催場所

上越市埋蔵文化財センター2階 学習室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

上越市審議会等の会議の公開に関する条例（平成16年条例第1号）第7条第5号（行政運営情報）に該当するため。

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・ 委 員：川村委員（委員長）、秋山委員、浅倉委員、五百川委員、上原委員、野本委員
花ヶ前委員、松田委員

・ 事 務 局：中野教育長、中西文化行政課長、布施副課長、箕輪係長、新保係長、吉川主任
草間主任

8 発言の内容（要旨）

【委嘱状交付、委員長・副委員長選出】

委員長） 川村委員

副委員長） 中戸委員

【報告・議事】

(1) 平成28年度事業計画について（公開）

（草間主任）

文化財保存整備費、春日山城跡保存管理事業、春日山城跡5か年整備事業について、資料1をもとに概要説明。

（新保係長）

市内遺跡発掘調査事業、ほ場整備等遺跡発掘調査事業、埋蔵文化財センター管理運営費、「弥生のムラ」コミュニティパーク事業について、資料1をもとに概要説明。

(松田委員)

埋蔵文化財センターの入館者数が、平成 25 年度が 43,425 人、26・27 年度が約 38,000 人だが、概ね入館者数を維持していると認識してよいのか。新幹線効果などはあるのかどうか。

(新保係長)

入館者数は、観光振興課関係の要素が大きく影響を受けているのが実状。新幹線効果については、市として明確に上越妙高駅からどれぐらいの人が訪れているのかは把握できていないが、来館者の声から、個人的には遠方からの来館が多い印象がある。

(川村委員長)

総合博物館の入館者などと比べても、圧倒的にセンター入館者は多いのでは。

(中西課長)

県文化行政課に聞くと、県内の埋蔵文化財施設と比べても、群を抜いて多いとのこと。埋蔵文化財センターというよりも、春日山城跡のインフォメーションセンターとしての利用で来館される方が大半。

(川村委員長)

ほ場整備等発掘調査事業の事業計画を見ると、これから大規模な発掘調査が必要になってくるのではないかと。文化財業務が多岐にわたる中で、発掘調査が増えると、さらに大変になる。

(新保係長)

平成 27 年度中の試掘調査結果から、三和中部第 1 地区及び木島地区については、大規模な発掘が必要とはなっていない状況。

(中西課長)

今後、ほ場整備だけではなく、上越魚沼地域振興快速道路建設に伴う調査も予定されている。現在工事が行われている上越インターから三和インターまでは、国の直轄事業のため、県が発掘調査主体となったが、三和インターから先は県の事業となるため、発掘調査主体は市となる。現在工事等が残っている三和から浦川原の間の道路法線には、縄文時代の遺跡や須恵器の窯跡が存在するため、今後は発掘調査が増える可能性が高い。

(松田委員)

上越魚沼地域振興快速道路は、基本的に盛土によるものなのか。盛土だと、遺跡は壊れないから発掘調査は不要となるのでは。

(中西課長)

基本盛土だが、水田部分で、盛土により風通りが悪くなり、作物に影響がある場所などは、高架の場所もある。発掘調査の判断基準では、2 m 以上盛土を行うと地下に影響を与えるということから、発掘対象となる。また、そもそも道路構造令に基づく道路自体が永久構造物とみなされ、発掘対象となっている。

(野本委員)

「弥生のムラ」コミュニティパーク事業計画に、「遺跡応援団」とあるが、どういった団体なのか。主体的に動いてくれ、行政の負担が軽くなるような、市民活動的に活発に活動する団体か。

(新保係長)

釜蓋遺跡ガイダンス、釜蓋・吹上遺跡に集い、遺跡の魅力を発信し、活動してくれる団体。遺跡での活動で、一番動いてくれている方々。

(中西課長)

学校が施設利用学習で来館し、一クラス、二クラスと大勢で勾玉作りや土笛作りなどを体験する際、応援に来て指導をしてくれたりしている。また、6 月 4 日の春祭りでは、企画の立案などを行い、新しい試みとしてスタンプラリーなども行われ、好評を得た。

(野本委員)

地域の方々が盛り立ててくれるのは、大切なこと。

(川村委員)

吹上・釜蓋遺跡応援団の活動が、釜蓋遺跡を元気にさせる。文化財、史跡での活動は、行政主導型より、応援団のような姿が、本来の姿。

(中西課長)

地域活動支援事業を地域自治区ごとに募集をして行われているが、文化財を核に地域がひとつとなって活動をしている様子が見受けられている。

(吉川主任)

国史跡宮口古墳群・水科古墳群指定 40 周年記念事業（5 月 20・21 日実施）について、資料 1 をもとに概要説明。

(2) 文化財指定等について（非公開）

9 問合せ先

文化行政課・文化財係 TEL：025-545-9269（内線 1240）

E-mail：bunkagyousei@city.joetsu.lg.jp

10 その他

当日資料も併せてご覧ください。